

4 「まちセッションvol.1」を実施！ みんなで学ぶまちづくり

私たちの活動の一つとして、定期的に勉強会イベント「まちセッション」を開催していきます。2021年11月に開催された第1回目のゲストは、雑誌『ソトコト』編集長の指出一正さんでした。日々、全国の魅力的なまちづくりが行われている場所を巡り続けている指出一正さんから、台東区北部地域のまちづくりにも参考になるような、様々な事例をご紹介いただきました。ここではその中から指出一さんイチオシの3事例を紹介！



ゲスト
指出一正さん(雑誌『ソトコト』編集長)
さして かずまさ



指出一さんイチオシのまちづくり事例！



① MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館
(奈良県南部・東部の芸術祭)

この芸術祭のキュレーションを行いました。その活動の一つがスナックのマスターとしてスナック3店舗を開業することで。芸術が好きでない人たちともしっかりと交流できればという地域の人の想いから、お互いが出会うきっかけとなる場をつくらうと考えました。始めてみると、スナックは大入り満員となりました。多くの人たちが面と向かった交流ではなく、一人と一人が斜めに出会う「斜めの接点」を持つことでおもしろいことを生み出します。50代、60代の地域の方々や若い人たちの出会いをどう設計するかということ、メディアの手法をうまく使って取り組むことができました。



② ブックマンション
(東京都吉祥寺の本屋さん)

2019年に東京の吉祥寺駅近くにオープンした、一つの棚を月3850円で貸している棚貸しの本屋さんです。現在約70名の方が、棚主の契約をしています。最年少の借り手は小学生！カーブ好きの本棚などマニアックな本棚が大変好評だそう。棚を見ると、多くの棚が「自分が今こうである」でなく、「これからこのようになりたい」状態を表現しているように見えてきます。自身がどのようにこのまちで生きていきたいかが表現されていて、棚主同士での交流が生まれたり、棚を疑似家族に見立てたりと、様々な楽しみ方で賑わいを見せています。



③ かかみがはら暮らし委員会
(岐阜県各務原市のコミュニティ)

きちんと整備されていて綺麗なのに、あまり活用されていなかった「学びの森」という公園がありました。そこで、人が集える場所としてマルシェを開催することに。毎月定期的にこの場所に集まって、各務原市や自分のことについて話す「寄合」がきっかけとなり、まちを楽しむ自然なコミュニティが育っていったそうです。そこでは、日本酒の会やカメラの会など自身の好きなものをテーマとした小さな企画が派生して生まれていき、まちの中で「自分たちが楽しむ」という素地ができました。世代は関係なくまちを楽しくしていこう！という気持ちや行為が結果的に人を集めるモデルです。

まちセッション参加者の声

まちの方
台東区主催のこうした取り組みは今までなかったの、この機会を大事にしたいと思います。

エリア外の方
北部に限らず台東区を愛している人は多いと思うので、これからも活動を期待しています！

事業者の方
改めて、北部地域にもまだまだポテンシャルが十分にあるのだと感じました。

まちセッション Vol.2 参加申込受付中！

令和4年 9月7日(水)

時間：18:00-20:00
場所：清川区民館



会場参加申込み



配信視聴はこちら

「空室を0にする 大家のまちづくり」

きもと たかひろ
ゲスト 木本孝広さん
ダマヤ・カンパニー 代表取締役



*定員30名が埋まり次第、募集を締め切らせていただきますのでご了承ください。
*オンライン配信の視聴は参加申込不要です。

タイトー キタリズム

TAITO KITA RHYTHM

はじめまして、
タイトーキタリズムです！

「タイトーキタリズム」は、
台東区北部地域を中心に
まちとひと、風景や日常を、
まるっともって好きになる
地域密着型メディアです。

TOPIC!

まちセッション vol.1
地域の魅力をあぶりだすローカルメディア



ゲスト
指出一正さん
(ソトコト編集長)

まちと一緒に魅力的にしたい人あつまれ！

台東区では、北部地域、特に北部地区（東浅草2丁目、日本堤1丁目・2丁目、清川1丁目・2丁目、橋場1丁目・2丁目）で、空き家・空き店舗を活用したい不動産オーナーさん、この地域で事業にチャレンジしたい人を募集しています。

タイトーキタリズム SNS



Facebook



Instagram

@taito_kita

【お問合せ先】
台東区 地域整備第二課
電話：03-5246-1366
ファクス：03-5246-1359

発行日：2022年8月
発行：台東区
編集：株式会社 HAGI STUDIO
株式会社 グランドレベル

1 私たちとつくりましょう!

私たちは、台東区、建築設計やリノベーション、まちづくりに携わる、株式会社 HAGI STUDIO (ハギスタジオ) と株式会社 グランドレベルにより結成された「まちの編集室」です。エリアの皆さんにまちのことを教えていただきながら、地域密着型メディアとして、まちの様々な可能性や魅力をお届けしたいと思っています。

今後私たちは、まちのどこかに出現する予定です。お目にかかる機会もあると思いますので、その時はぜひ気軽に声をかけてくださいね。

一緒に活動してくれる仲間も随時募集中です。どうぞ皆さま、よろしくお願いいたします!

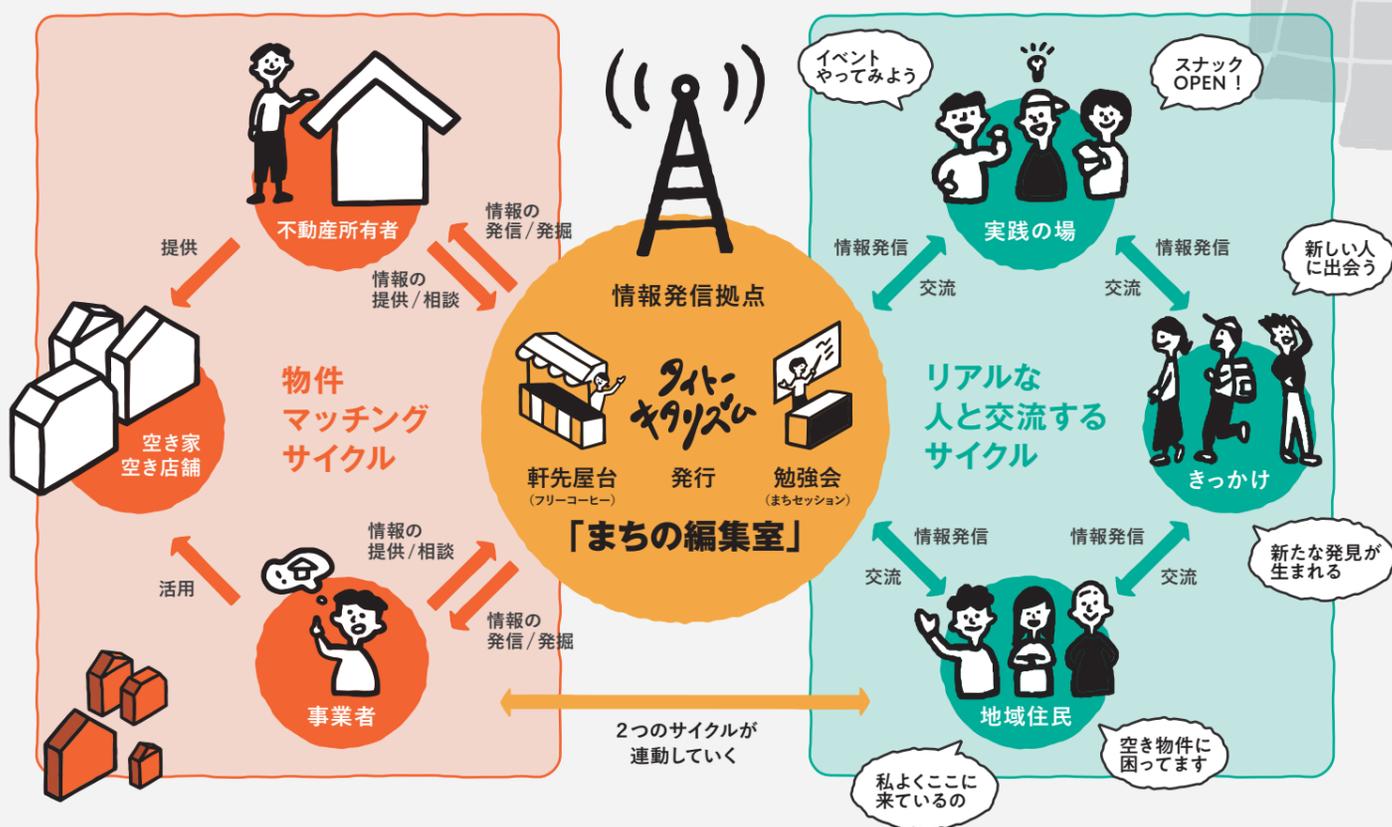


1 台東区北部地域で「リノベーション型まちづくり」始動!?

お近くの、あるいはご自身の所有の、空き家や空き店舗を大募集! リノベーションの手法を用いて、今現在の台東区北部地域ならではのまちの風景を、一緒に作っていきませんか。私たちは、「人々が共生し住み働き続けられる便利なまち(*1)」を実現するための一歩が踏み出されるように、ささやかながら楽しい応援をしたいと考えています。(*1)台東区が都市計画マスタープランに掲げる将来像

2 さまざまな人や世代間交流のできるサイクルづくり

情報発信・イベント企画・拠点づくりの3つを軸に、『空き家や空き店舗のマッチングサポート』、『まちの人や出来事とのリアルな交流』を進めます。



3 リズムインタビュー! まちのひとに学ぶ

北部地区には、注目すべき魅力・アクションを起こす人・个性的なお店などがたくさんあります。実際に地域住民や事業者の拠り所となり、お互いや地域を知るきっかけとなるように、私たちは「タイトーキタリズム」創刊に際し、北部地区を中心に様々な分野でご活躍されている事業者さんへお話を伺いました。ここでは、4名の皆さんから伺った北部地区に眠る魅力を見いだすメッセージをご紹介します!



やってみようを面白がるまち

あれは嫌だこれは嫌だではなく、とりあえず何かやってみよう!! 面白いところがポツポツでき始めると、面白がってくれる人たちが集まってきてくれる。そんな地域ですよ!

堀田 治彦 (ほった・はるひこ) さん
いろは会商店街会長



まちのファンを増やしたい

このまちには、魅力的な場所が本当に多いです。だから、少し変わったところにもいろんな人たちをお連れして、ファンに、そしてまちに対する応援団になって欲しいと思っています。

毛塚 雅清 (けづか・まさきよ) さん
NPO法人まちづくりたいとう



多様性から生まれる未来

このまちならではのことをしたいですね。北部地域には他のまちにはない多様性があります。山谷に関心がある外国人の方も多ですし、彼らが戻ってきたときに、多様性に富んだこのまちをどう動かしていくかは、とても面白いテーマです。

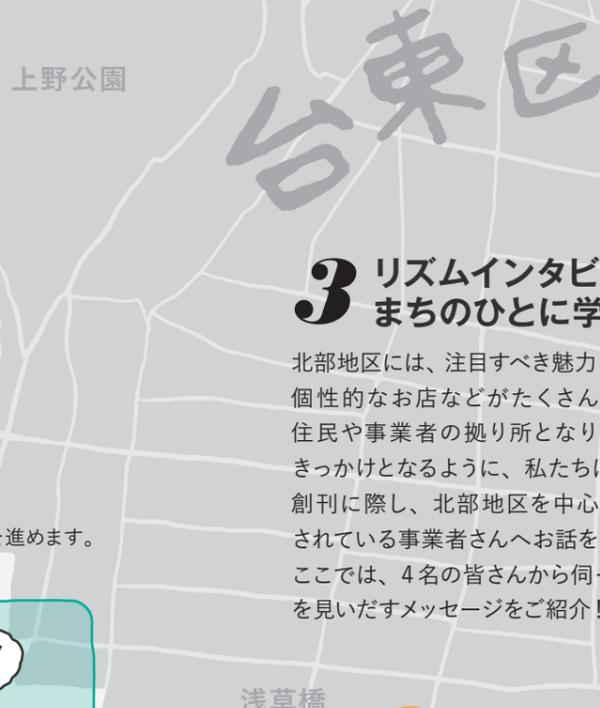
義平 真心 (よしひら・まごころ) さん
一般社団法人 結 YUI



外からの目線の大切さ

「私はこういう服しか似合わない」と思い込みがあったとしても、「こういう服が似合う」と言われたら、新しい気づきが生まれるものです。まちの中からの発想だけでなく、そんな外からの目線でも、このまちを見てもらいたいです。

松村 健一 (まつむら・けんいち) さん
城北旅館組合



北部地域